

【2020年度 FD・SD委員会 事業報告】

FD・SD委員会

委員長校：神戸学院大学

副委員長校：兵庫大学、神戸薬科大学

委員校：芦屋大学、関西国際大学、関西学院大学、聖和短期大学、甲南大学、神戸海星女子学院大学、
神戸市看護大学、神戸松蔭女子学院大学、神戸女子大学、神戸女子短期大学、神戸親和女子大学、
神戸大学、神戸常盤大学、神戸常盤大学短期大学部、頌栄短期大学、園田学園女子大学、
園田学園女子大学短期大学部、姫路獨協大学、兵庫医療大学、兵庫教育大学、兵庫県立大学、
兵庫大学短期大学部
計25校

<目的>

教職員の資質を向上させることを目的とした研修の機会を継続的に提供する。県下の大学等高等教育機関の関係者に研修交流機会を提供することにより、相互の立場で具体的な施策に結びつく議論が行われる、関連な意見交換の場を創出する。

<内容>

- ・公開が可能であるFD・SDセミナーの情報を収集・提供する。
- ・コンソ加盟校教職員を対象とした大学教育に関する講演会を行い、コンソ加盟校教職員の資質向上を図るとともに、教職員間の交流を促進する場を提供する。
- ・専門的知識や大学での業務経験を有する者で、コンソ加盟校での就業を希望する者に、就業の機会を提供する。
- ・関西学院大学経営戦略研究科において開講する「大学運営」(2単位)を、コンソ加盟校の若手大学職員を対象として履修の機会を提供する。

<期待される効果>

大学コンソーシアムひょうご神戸加盟校教職員の資質向上に寄与し、加盟校の担当者間の情報交換・交流や加盟校間での人材交流を促進する場が提供できる。

実施プログラム名称		予算額
①	加盟校が実施するFD・SDセミナーの公開	0円
②	加盟校教職員を対象とした大学教育等に関する講演会等の開催	400,000円
③	大学コンソーシアムひょうご神戸・人材バンクの活用	10,000円
④	「大学運営」に関する科目の受講支援	0円

【2020年度 FD・SD委員会 事業報告①】

課題	“ひょうご神戸”の特性を活かした教育力の向上		
達成目標	大学コンソーシアムひょうご神戸加盟校教職員にFDおよびSDに関する情報を広く周知し、共有する。		
課題を解決する取組概要	大学コンソーシアムひょうご神戸加盟校において、公開可能なFD・SDセミナーの情報を収集し、大学コンソーシアムひょうご神戸加盟校に開放する。		
活動指標	公開セミナー開催数: 4件以上/年		
内容 (結果)	<p>【実施概要】 加盟校より7件のFD・SDセミナーの公開に係る情報提供を行い、加盟校及びホームページへ公開を行った。</p> <p>【参加者数】 (情報の公開) 4大学 7件 (内訳) ・関西学院大学(9月26日～11月14日) 募集人数制限なし 参加人数20名(学内10名、コンソ加盟校3名(2校)、他大学7名(7校)) ・神戸学院大学(10月22日開催) 募集人数制限なし 参加人数72名(学内63名・コンソ加盟校6名(5校)・コンソ事務局3名) ・兵庫大学(1月21日開催) 募集人数200名 参加人数63名(学内42名・コンソ加盟校11名(5校)・コンソ事務局1名・他大学2名(2校)・関係機関(その他)7名(2機関)) ・神戸学院大学(2月19日開催) 参加人数30名(学内5名・コンソ加盟校19名(11大学)・コンソ事務局5名・関係機関1名(1機関)) ・神戸学院大学(2月22日開催) 参加人数94名(学内60名・コンソ加盟校33名(5大学)・コンソ事務局1名) ・神戸大学(3月5日開催) 参加人数105名(学内64名・コンソ加盟校3名(2大学)・コンソ事務局2名・他大学22名(14校)・関係機関14名(9機関)) ・関西学院大学(3月5日開催) 参加人数150名(学内33名・コンソ加盟校5名(4校)・他大学73名(64校)・関係機関(その他)39名(38機関))</p>		
新しい試み等 (事業計画に記載)			
事業収支	収入	支出	収支
	円	円	円
			備考

自己評価	【対到達目標】	4	【対継続性】	4
	<p>2020年度においては新型コロナウイルスの影響で各大学の対面でのFD・SDセミナーが軒並み中止となった。しかしながら後期以降オンラインでのFD・SDセミナーが各大学で多く実施され、「公開が可能であるFD・SDセミナー」については、到達目標である公開件数4件に対して7件の公開となり、目標を達成することができた。今後もFDおよびSDの情報交換の場として活用していきたい。</p>			

- | | |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>■ 自己評価基準
(対到達目標)</p> <p>4: 当初計画を上回って達成
3: 当初計画を達成
2: 当初計画をやや下回った
1: 当初計画を下回った</p> | <p>■ 自己評価基準
(対継続性)</p> <p>4: 本プログラムは継続すべき
3: 本プログラムは継続しても良い
2: 本プログラムの継続には改善が必要
1: 本プログラムは中止すべき</p> |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

理事会からの改善提案 (次年度事業計画に反映)	<p>・新型コロナ影響で、セミナー数は減少したが、リモート形式を活用し、加盟校教職員間での研鑽の場を広げて頂きたい。</p>
----------------------------	----------------------------------------------------------------

【2020年度 FD・SD委員会 事業報告②】

課題	“ひょうご神戸”の特性を活かした教育力の向上			
達成目標	各取組への参加教職員数:300名(2021(平成33)年度までの延べ人数) ※本委員会が実施するFD・SDセミナー、研修会、講演会の参加教職員数を含める。			
課題を解決する取組概要	加盟校教職員を対象とした大学教育に関する講演会を行い、コンソ加盟校教職員の資質向上を図るとともに、教職員間の交流を促進する。			
活動指標	開催数:1回以上/年			
内容 (結果)	<p>日 時 2020年10月22日(木)13:00~14:30</p> <p>タイトル 社会人学生の入学をうながす大学院・リカレント教育改革 ~働きながら学べる高等教育機関となるためには~</p> <p>場 所 Zoomを用いての参加</p> <p>講 師 永久 寿夫 氏(株式会社PHP研究所 取締役専務執行役員)</p> <p>参加者数:6大学72名 神戸学院大学 63名 神戸女学院大学 1名 神戸松蔭女子学院大学 1名 神戸親和女子大学 1名 神戸大学 1名 兵庫県立大学 2名 コンソ事務局 3名</p>			
新しい試み等 (事業計画に記載)				
事業収支	収入	支出	収支	備考
	400,000円	62,588円	337,412円	

自己評価	【対到達目標】	4	【対継続性】	4
	<p>活動指標の年1件以上の開催数を達成し、目標である「参加教職員数300名(2021年度までの延べ人数)」に向けて、今回の参加人数72名を合計し、参加教職員349名(2020年10月22日時点)となり、目標を達成することができた。今回の取り組みを受けて、今後の加盟校への情報発信や、より多くの参加者を受け入れるべく体制を整えていく。</p> <p>また、研修内容については、近年関心が高まっているリカレント教育についての講演会を実施し、コンソ加盟校教職員の資質向上を図ることができたと言える。</p>			

■自己評価基準
(対到達目標)

- 4:当初計画を上回って達成
- 3:当初計画を達成
- 2:当初計画をやや下回った
- 1:当初計画を下回った

■自己評価基準
(対継続性)

- 4:本プログラムは継続すべき
- 3:本プログラムは継続しても良い
- 2:本プログラムの継続には改善が必要
- 1:本プログラムは中止すべき

理事会からの改善提案 (次年度事業計画に反映)	・委員長校主導の元、ハイブリッド方式で開催、コンソーシアムの柱となる取組みでありぜひ活動の継続をお願いしたい。
----------------------------	---------------------------------------------------------

【2020年度 FD・SD委員会 事業報告③】

課題	就業機会情報と求職者情報の提供			
達成目標	周知方法の改善により登録者20名以上を目標とする。			
課題を解決する取組概要	1) 大学コンソーシアムひょうご神戸・人材バンクの活用 2) スキルアップセミナーの開催			
活動指標	・神戸大学内の周知改善を評価後、加盟機関への周知方法について再検討 ・1回以上の各種スキルアップセミナーの開催			
内容 (結果)	<p>1. 人材バンクの活用促進</p> <p>○ 改修した人材バンクホームページ(人材HP)の活用するために、神戸大学キャリアセンターおよび大学コンソ事務局と協議した。</p> <p>○ この結果、求人・求職者の情報を増やすことが重要であるため、まず「求人サイト」に加盟校のバナーを配し、非常勤職員募集サイトとリンクする構造に部分改修することとした。</p> <p>○ 平行して「人材バンク活用セミナー」の開催を検討し、HPの活用や求職者登録プロセスについてオンラインで意見交換する方向で検討する。</p> <p>2. 大学コンソーシアムひょうご神戸加盟大学の構成員を対象にしたスキルアップセミナーを1回以上開催する。</p> <p>○ スキルアップセミナーとして、2021年3月5日に女性研究者の活躍及び働き方改革をテーマにしたダイバーシティフォーラムを開催する。</p>			
新しい試み等 (事業計画に記載)	1. 人材バンクの活用促進 ○ 大学コンソ加盟校の人材募集情報を集め、積極的に人材HPに掲載する。			
事業収支	収入	支出	収支	備考
	10,000円	円	10,000円	

自己評価	【対到達目標】	2	【対継続性】	4
	求人・求職情報の一元化は、大学コンソにとって大きな財産となり、他府県大学コンソとの連携に活用できる情報となるため、今後も継続して活用を積極的に検討すべきである。			

■自己評価基準
(対到達目標)

- 4: 当初計画を上回って達成
- 3: 当初計画を達成
- 2: 当初計画をやや下回った
- 1: 当初計画を下回った

■自己評価基準
(対継続性)

- 4: 本プログラムは継続すべき
- 3: 本プログラムは継続しても良い
- 2: 本プログラムの継続には改善が必要
- 1: 本プログラムは中止すべき

理事会からの改善提案 (次年度事業計画に反映)	・担当校で運用の見直しを行い、今後、加盟校間での人材活用の一助となるよう周知徹底と活用を促進いただきたい。
------------------------------------	-------------------------------------------------------

【2020年度 FD・SD委員会 事業報告④】

課題	“ひょうご神戸”の特性を活かした教育力の向上			
達成目標	各取組への参加教職員数:300名(2021(平成33)年度までの延べ人数) ※本委員会が実施するFD・SDセミナー、研修会、講演会の参加教職員数を含める。			
課題を解決する取組概要	「大学運営」に関する科目の受講支援 プラットフォーム参画大学が開講する「大学運営」に関する科目の、プラットフォーム参画大学職員の受講を支援する。			
活動指標	「大学運営」科目の継続開講			
内容 (結果)	関西学院大学の正課科目(「大学運営」として2020年度第3クォーターに開講し、加盟校から3大学・13名が受講した。			
新しい試み等 (事業計画に記載)	特になし			
事業収支	収入	支出	収支	備考
	円	円	円	

自己評価	【対到達目標】	3	【対継続性】	4
	受講生の一部にヒアリングしたところ、高度な内容で満足度が高いため、来年度の開講に向けても引き続き加盟校への広報を行っていききたい。			

■自己評価基準
(対到達目標)

- 4:当初計画を上回って達成
- 3:当初計画を達成
- 2:当初計画をやや下回った
- 1:当初計画を下回った

■自己評価基準
(対継続性)

- 4:本プログラムは継続すべき
- 3:本プログラムは継続しても良い
- 2:本プログラムの継続には改善が必要
- 1:本プログラムは中止すべき

理事会からの改善提案 (次年度事業計画に反映)	<ul style="list-style-type: none"> ・担当校の正課科目として開講し、加盟校3校からの受講があったことは、加盟校でのニーズ、興味の高さを示している。 ・受講生の満足度も高くぜひ継続して、事業を行っていただきたい。
----------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------